

平成 29 年度 横浜市民体育大会テニス競技(第 71 回ダブルス大会)

<大会役員>

大会名誉会長 林 文子

大会会長 山口 宏 副会長 西山 雄二・日下 啓二

顧問 山田 巧・河原 智・尾島 良一・日下 啓二

*大会役員は H29.4.1 以降に変更される可能性もあります。

<競技役員>

競技部長 福田 昇 競技委員長 中嶋 俊一 競技副委員長 入澤 多恵子・大村 幸雄

レフェリー 川上 利勝 チーフアシスタントレフェリー 九鬼 博

アシスタントレフェリー

飛田 敏男・関 宏一・東方 久美子・窪田 洋久・松場 保子・由井 マリ

田嶋 達也 (アレスマイスター)・山崎 康成 (東洋電機テニス部)

審判員 高橋 秀夫・皆川 亮子・新部 均

[注 意 事 項]

1. 本大会は、すべてのプレーヤーを公平に取り扱います。
2. 出場選手はドロー記載の所定時刻までにテニスプレーのできる準備をして(ダブルスの場合ペアで)受付に届け出てください。ドロー記載の所定時刻に遅刻した場合は直ちに棄権とみなします。
3. 天候により試合の有無が不明の場合も定刻までに参集してください。(午前11時までに最終決定をします)
使用コートは砂入り人工芝・オールウェザー等ですので、天候が回復すれば試合は時間をずらして行なうことがあります。
なお各会場公園事務所への試合開催の有無について電話での問い合わせはしないでください。(公園事務所は大会運営に関与しておらず回答に責任を持ちません。また他の業務に支障をきたし迷惑がかかりますので絶対にしないでください)
4. 試合は8ゲームズプロセット(8オールタイムブレイク、ジュースあり)です。ただし一般男・女本戦の2R以降と男子55才以上、60才以上、65才以上、70才以上、75才以上、女子40才以上、45才以上、50才以上、55才以上、60才以上は準決勝から、男子35才以上、40才以上、45才以上、50才以上は準々決勝から2タイムブレイクセット(6オールタイムブレイク、ジュースあり)ファイナル10Pマッチタイムブレイクとします。(一般男女予選の全てと一般男・女本戦の1Rは8ゲームズプロセットです)
5. 使用球はダンロップフォートイエロー、2球使用。ボールチェンジはありません。(新横浜公園コートではセットチェンジとします。但しファイナルの10Pマッチタイムブレイクセットはチェンジはありません)
6. 試合はセルフジャッジとします。別ページの「試合前の準備とセルフジャッジについて」をご覧ください十分ご理解の上スポーツマンシップに法りトラブルのないようフェアに試合を進めてください。一般男女本戦準決勝・決勝戦、年齢別種目の決勝戦はソロチェアアンパイア：SCUをつけることがあります。また会場にレフェリーやロービングアンパイアを配置しますので運営や試合進行で指示があった場合その指示に従ってください。指示に従わない場合は失格になる事があります。
7. 試合時の着衣はテニスウェアとします。Tシャツや不適切なウェアは認めません。(ウェアルールはJTAルールに準じます)ウェアの適否はレフェリーが判断します。
またフェイスマスクは医師の診断書の提示がない場合着用を禁じます。
8. ウォーミングアップはサービス8本のみとします。(SCUがつく試合ではその指示に従って下さい)
9. 試合中ケガの処置をしたい時にはレフェリーまたはロービングアンパイアにその旨申し出て許可を受けてから所定の時間内(3分以内)にメディカルタイムアウト：MTOとして処置をする事ができます。熱中症の処置もできますがその場合は1試合につき1回だけに限られます。また、筋ケイレンによるMTOは取れません。
10. トイレタイムブレイクや用具の不具合交換などやむを得ない理由で試合中、一時コートを離れなければならない時は対戦相手にその旨伝えると共に必ずレフェリーまたはロービングアンパイアに申し出て許可を得てからコートを離れてください。
11. 次の試合の日程は必ず各自で確認してください。(自分の試合予定日以前に雨天の日があったり日没などで予定どおり試合が消化できなかったときには、当初予定の試合日程および会場が変更されていることもあります。予めウインザーラケットショップ横浜店、井上スポーツ、ラックテニススポット港南台、ラックたまプラーザ店および横浜市テニス協会ホームページ等で自分自身で日程を確認してから会場においで下さい)
12. 本大会はスポーツ障害保険に加入しています。プレー中にケガをされた方は、コートレフェリーに申し出てください。
13. 盗難予防のため貴重品は各自責任を持って管理してください。持ち物の紛失、盗難に関し公園管理事務所および横浜市テニス協会は責任を負いかねますので予め御了解ください。
14. 一般男子・一般女子の予選優勝者の本戦のドロー位置は抽選で決定いたします。予選の優勝者は必ず抽選結果を確認してからコートを離れて下さい。
15. 一般男子・一般女子本戦はラッキールーザー制を採用します。希望する参加者(ダブルスの場合は予選参加ペア)は本戦1R当日8時45分までにテニスプレーのできる準備をして指定の用紙にサインインしてください。
なおラッキールーザーの優先順位、挿入手順はJTAルールに準じ決定します。(優先順位第一位：予選決勝戦の敗者、二位：予選準決勝戦の敗者、三位以下も同様に繰り下げて順位を決めます。同順位の場合は抽選で順位を決めます)
16. 今年度大会一般男子本戦ベスト16、一般女子本戦ベスト8の選手は来年度大会本戦のダイレクトアクセプタンス(ストレートイン)の権利があります。ダブルスの場合同一ペアの出場に限りです。

17. 本大会成績から来年度神奈川県大会横浜地区代表を選考します。
18. コート内に飲み物を持ち込むときは転倒しても飲み物がこぼれ出ないボトルとしてください。缶やコップ類は不可です。
19. 富岡西公園テニスコートは、大会参加者の駐車場利用は禁止されています。山手公園市営テニスコート、岡村公園市営テニスコートは駐車場が極端に狭く混み合いますので車で来場は御遠慮下さい。とりわけ山手公園テニスコートは駐車スペースが無いに等しく路上駐車すると付近の住民から苦情が持ち込まれ、試合中でも車の移動を迫られますので十分ご注意ください。(この場合でも試合中のルールは適用され不当な時間の遅延でコードバイオレーションの対象になりポイントペナルティーを取られたり失格になることがあります)
20. ほとんどの会場にはゴミ箱の設備がありません。会場で発生したゴミは各自お持ちかえりいただくようお願い致します。ゴミ箱の設備のある会場でも本大会の関係者はゴミの持ち帰りにご協力下さい。応援の方にも徹底願います。
21. 試合が終わったら勝者は試合結果を対戦票に記入し速やかに大会本部に報告しあわせて使用済みボールを返却してください。
22. その会場の最終試合の方にコート整備をお願いする事があります。指示がありましたらご協力願います。

(D/S2017-3)

【試合前の準備とセルフジャッジについて】(チェアアンパイアのつかない試合規則から)

1. 試合の始まる前にネットの高さは正しいかシングルススティックが正しい位置に立っているか確認する。
2. ウォームアップの前にトスをする。(トスの勝者はサービスまたはレシーブを選択するかコートのエンドを選ぶ事ができる。勝者がサービスまたはレシーブを選択した場合敗者はエンドを選び、エンドを選んだ場合サービスかレシーブかを選ばなければならない。また勝者は敗者にどちらかを選ばせる事もできる)
3. ウォームアップは**指示された方法**を厳密に守る。
4. セルフジャッジの判定は以下を行う(ダブルスの判定はペアの一人の選手が行えば成立する)
 - ・アウト、フォルト、サービスの“ネット”の判定は瞬間的に相手に聞こえるような声とハンドシグナルで行なう。(一旦アウトまたはフォルトとコールしそれをグッドと訂正した場合そのプレーヤー(ダブルスの場合ペア：以下同様に“ペア”と表記する)は失点する。ダブルスの場合、あるプレーヤーが“アウト”と判定したが、そのパートナーが“グッド”とした場合、そのペアは失点する)
 - ・相手の打ったボールがインかアウトかははっきりしない場合は“イン”と見なして試合を続行する。(レットにはしてはならない)
 - ・相手コート上のボールの判定は相手にまかせ、たずねられないのに口を出さない。
 - ・相手が自分よりボールを見るのに良い位置にいた場合は自分のコート上のボールの判定にも相手の意見を求める事が出来る。
 - ・判定について観客や相手以外のプレーヤーの助けを求めてはならない。
5. サービスのレット(ネットイン)はレシーバー(ペア)のみがレットをコールできサーバー(ペア)にはその権利はない。(誤ってサーバー(ペア)がサービスのレットをコールした場合そのコールによってプレーが中断した場合サーバー(ペア)の失点になる。ただしレシーバー(ペア)がそのコールに同意した場合はサービスのレットとなる。(ダブルスの場合レシーバーペアの一人がフォルト、パートナーがレット(イン)とコールした場合はサービスのレット：ネットインとなる)
6. サーバーは新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前に必ずレシーバーに聞こえるような大きな声でスコアをアナウンスしてからサービスを開始する。
(レシーバーはサーバーのスコアアナウンスに対し正しく聞こえたら同意を示すため、声またはジェスチャーによって合図を送らなければならない。疑義がある場合には直ちに確認を行う。次のプレーが開始されたらさかのぼって訂正を求める事はできない)
7. スコアが分からなくなったときは双方(ペア)が合意できるスコアまでさかのぼりそのスコアに、合意できたスコア以降、スコアが分からなくなったポイントまでの間で双方が合意できるそれぞれが取ったポイントを足したスコアから再開する。再開するときサーブするサイドは再開のポイントのスコアに準ずる。ゲームスコアが分からなくなったときも同様に処置する。
8. スコアボードのあるコートではエンドチェンジのときにスコアの更新をする。選手名のないスコアボードでは上をドローナンバーの若いプレーヤー(ペア)のスコア、下を数の多いプレーヤー(ペア)のスコアとする。
9. インプレー中に他のコートからのボールが自コートのプレーゾーンに入ってきたり物が風で飛んできたりして妨害が起こった場合は直ちに「レット」とコールしてプレーを停止することができる。なおレットをかける前に打たれたボールはその行方を追いボールが正しくコートに入った場合レットが成立する(アウトの場合そのボールを打ったプレーヤー(ペア)が失点する)。プレーが続きポイントが終わってからレットを主張する事は出来ない。
10. インプレー中持ち物を落とした場合それが一回目のときは直ちにレットをコール(レットをコールできるのは落としたプレーヤーの反対のプレーヤーのみです)してプレーを停止する。レットをかけた後の処置は前項(9.)後半と同じく処理する。この後その落とし主(ペア)は次からは落とすたびに失点になることを確認しあって試合を続行する。
11. トイレットブレイクや飲み物補給、着衣の突然の不具合などさまじまなやむを得ない理由で試合中、一時コートを離れたくなった時には対戦相手およびロービングアンパイアまたはレフェリー(含むアシスタントレフェリー；以下同様)に申し出る。
12. 試合中体調が悪くなったりケガや持病の悪化があった場合、無理をせず「リタイア」を申し出る。この場合まず対戦相手にその旨告げ、その後周囲の人にロービングアンパイアまたはレフェリーを呼んでもらってリタイアを申し出る。「リタイア」はレフェリーが決定するので選手は対戦相手が同意しても勝手に対戦を終了したりコートを離れてはいけない。
13. 相手の判定が常に著しく不適当に行われていると判断される場合、その言動やフットフォルトに疑問、あるいは不服があるときはロービングアンパイアまたはレフェリーに対処を申し出る事ができる。
14. 選手間で解決できないトラブルが生じたときはロービングアンパイアまたはレフェリーに裁断を申し出る事ができる。
15. コートサイドに携帯機器を持ち込む場合には必ず電源を切って持ち込むこと。プレーヤーは試合中に携帯機器を見たり操作することはできません。
16. 試合が終わったら勝者は直ちにスコアを大会本部に報告し、あわせて使用済みボールを返却する。
(上記記載以外のルールは「J T A TENNIS RULE BOOK 2017」に準拠して行います)

(D/S2017-3)